

2023年度 社会福祉法人光摂会 事業報告(案)

●法人事業報告について

1、各事業所の実績について

事業所	定員・登録者数等	年間利用者延べ人数・年間在籍者数
摂津交流センターバクの家	35	6,469
ハッピーワールド	21	3,832
バクのパン屋さん(バクかふえ含む)	19	3,519
光摂ホーム	11	3,740
摂津障害者生活支援センターはあねす	100	2,771
ケアプランセンターたんぽぽ	なし	2,891
ケアセンターたんぽぽ	なし	1,487
デイサービスたんぽぽ	12	3,286
わかば保育園	30	367

*定員・登録者数等は、2023年3月末時点

*わかば保育園のみ年間在籍者数

2、目標についての振り返り

(1) 運営について

- ① 法人が目指す「福祉」を明確にするために、理念と中長期ビジョンの作成を進めます。
 - ・法人事務局会議の中で、各部門の理念を確認した上で、法人理念「私たちは世代や立場をこえ、一人ひとりを大切にし優しさを紡ぐ法人を目指します。」と長期計画を策定した。今後は、理念と長期計画に沿った実践を進めていくことで、今まで以上に法人内に「人にやさしい」文化を醸成していくことが必要だと考えられる。
- ② 法人事務局を設置し、障害等部門・高齢等部門・保育部門を一元的に管理運営できる仕組み作りを進めます。
 - ・4月から各事業所の管理者等を構成員とした事務局会議を設置した。今年度は、事業譲渡の完了及び複合福祉施設建設に関する事項を主な議案とし会議を進めた。また、会議の中では、各事業所の状況共有、理事会での決定事項に基づき具体的な執行内容の確認等を行いながら、理事会の執行機関としての機能強化に努めた。
 - 1年間の会議を通して、法人の課題（職員処遇、人材確保等）を共有することが出来た。今後は、長期計画に基づいて、単年度目標を具体化することを目的として、当会

議を進めていくことが必要だと考えられる。

(2) 事業について

- ① 複合福祉施設の建設、障害等部門の再編に取り組む中で、地域と一緒に歩む開かれた事業所づくりを進めます。
 - ・1月には、法人機関紙である「ひこうせん」に、複合福祉施設に関する特集記事を掲載し、関係者や地域の方への配布を行った。当該特集では、地域の方にも複合福祉施設に関するアンケートを実施し、地域の方の意見を載せる構成とした。また、3月16日(土)と17日(日)の2日間に渡り、関係者や地域の方への内覧会を実施し、2日間で合計175名の方が来場された。今後は、複合福祉施設の活用方法について、法人内だけでなく地域の方とも協議しながら、「開放型複合福祉施設」の機能を十分に発揮していくことが必要だと考えられる。
- ② 災害等が発生した場合も、保育や福祉サービスの提供を続けるために、事業継続計画の作成などを進めます。
 - ・今年度は、障害等部門と高齢等部門の中で、事業継続計画(BCP)の作成を行った。また、複合福祉施設に関しては、3月に複合福祉施設に関わる全ての課題等を協議する場(複合福祉施設懇談会)を設置し、部門間を跨いだ事業継続計画作成のための土台作りを行った。今後は、各事業所や複合福祉施設で策定された事業継続計画による訓練や研修等を実施しながら、より実用的な事業継続計画を作成していくことが必要だと考えられる。

(3) 人材育成

- ① 障害等部門・高齢等部門・保育部門間の理解が深まる研修を実施します。
 - ・今年度は、事務局会議の中で、各部門の状況を共有するまでに留まった。今後は、法人理念や長期計画を法人全職員で共有した上で、部門間を越えた課題についての研修等を検討していく必要があると考えられる。

(4) 労働条件

- ① 障害等部門・高齢等部門・保育部門それぞれの就業規則を設けて、3部門それぞれに適した処遇改善を進めます。
 - ・今年度は、各部門の特色に合わせて、部門ごとの就業規則を策定した。また、事務局会議の中で、各部門に共通する職員処遇に関する課題等の確認を行った。今後は、長期計画に沿って職員処遇に関する課題等を確実に解消していく必要があると考えられる。

● 障害等部門について

◎ 摂津交流センターバクの家

1、事業所の目標の振り返り

(1) 地域の方との繋がりを大事に、余暇活動や身体を動かす活動（エアロビ、ラジオ体操、よさこいソーラン節）の充実をはかる。

・新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたエアロビは、感染症が一定落ち着いたことで年度の途中からではあるが、月に1度のエアロビを再開することができた。

・ラジオ体操については週に1日から始め、今では週5日行いラジオ体操以外にも体操を取り入れている。

・よさこいソーランについては、摂津市民福祉まつりで団体参加をし、関係者と一緒に踊ることができた。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	20	24	31	17	11	24	
事故	3	1	5	1	0	3	
苦情	1	1	1	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	22	34	25	18	18	18	262
事故	2	4	3	1	1	0	24
苦情	0	2	1	0	0	0	6

2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

・「障害特性に関するもの」112件、「自傷・他害」54件、「転倒・怪我」22件、「無断外出（未遂含む）」12件、「服薬関連（誤薬は含まない）」3件、「過度な接触行為」12件、「その他」47件。

② 事故について

・「他害・自傷」13件（うち6件は利用者間トラブルによるもの）、「無断外出」2件、「転倒」2件、「台車を運ぶ際に接触する事故」1件、「職員による車両事故」1件、「車内放置」1件、「路上停車中に利用者が降車する」1件。

③ 苦情について

- ・「支援について」2件、「騒音」1件、「その他、活動等に関する問い合わせ」3件。

④ まとめ

・「障害特性」が要因と考えられるものが多い。行動障害を持つ利用者の他害行為や無断外出、パニック。こだわりが原因である行動などが事故・ヒヤリの多くを占めている。特に報告書にあげている「車内放置」「路上停車中に利用者が降車する」に関しては、前例がなく、想定していなかった事例であり、「今まで大丈夫だったから」という考えでは対応は難しいと改めて認識することになった。

「車内放置」に関しては、送迎後の車内確認を怠り車内に残り事故があつてからは、送迎後の車内確認を徹底していた。「降車することができない」こだわりのある利用者の対応で施錠していなかった車内に、一旦降車後に再度乗車されていた。また、「路上停車中に利用者が降車する」については、助手席に乗車していた利用者が信号待ちで停車中にドアを解錠して降車するという、どちらも今までの支援の中では、ない行動であった。

併せて利用者の高齢化・身体機能の低下による転倒や躓きなども、引き続き増加傾向である。

例年、報告書にあがる「誤薬」に関しては、今年度は事前確認の段階で防ぐことができしており、対策の成果が上がっている。年々、服薬される方が増えていることもあり、引き続き確認を強化していく。

⑤ 今後の対応としては

・利用者の高齢化や身体機能の低下に伴う事故リスクへの対応に加え、今後ご家族の高齢化に伴う支援力の低下に対する支援も重要と考えられる。

また、障害特性に関わる傾向が強まる中、今まで以上に障害特性に応じた支援を実施することが必要であると考えられる。そのためにも個々の障害特性の理解、個々に応じた支援の実施がおこなえるように「行動障害」についての今まで以上の理解と支援についての知識が必要と思われる。

3、利用者工賃について

工賃支払総額	1,688,416 円
平均工賃	5,742 円

※工賃支払総額：2023 年度（1 年間）に支払った工賃の総額

※平均工賃：工賃支払い総額÷（開所日 1 日当たりの平均利用者数（24.5 人）× 12 カ月）

◎ ハッピーワールド

1、事業所の目標の振り返り

(1) 地域の行事等に積極的に参加する。

*5月14日(日) こどもフェスティバル 参加利用者…6名

*8月5日(土) 6日(日) 摂津まつり 参加利用者…10名

*8月26日(土) 正雀駅前たそがれコンサート 参加利用者…7名

・23年度に関しては、上記の地域イベントに参加し23名の利用者の参加があり
行事を通じながら地域の人たちと接する事が出来た。

*11月25日(土) パン屋・ハッピー合同開所には利用者5名が参加し、バクのパン
屋さん、ハッピーで初めての合同開所を行い休日のランチ営業を行った。

(2) 野外での余暇活動を充実する。

*23年度に至っては実施出来なかった

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	7	7	7	5	2	5	
事故	5	9	8	4	4	8	
苦情	0	0	0	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	8	5	8	9	10	3	76
事故	5	7	6	4	4	1	65
苦情	0	0	0	0	0	0	0

2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

- ・他害行為や声を出す場面が多くみられた
- ・利用者と利用者間でのイタズラ行為がみられた

② 事故について

- ・お手洗いに於いて衣服を濡らす事例やお手洗いの失敗に関する事例が多くみられた
- ・車両駐車時の扉に関する事例が1件

③ 苦情について

- ・年間を通じての苦情の申し出は無かった

④ まとめ

- ・年間を通じて、他害、自傷行為や衣服に関する事例が多くみられた
衣服に関しては、お手洗い後に衣服が濡れていたり便座を汚したりする事例が多かった
- ・苦情の申し出はないがご近所の方より、利用者の行動に対して不安の声があった

3、利用者工賃について

工賃支払総額	2,270,352 円
平均工賃	12,529 円

※工賃支払総額：2023 年度（1 年間）に支払った工賃の総額

※平均工賃：工賃支払い総額÷（開所日 1 日当たりの平均利用者数（15.1 人）× 1 2 カ月）

◎ バクのパン屋さん・バクかふえ

1、事業所の目標の振り返り

(1) チームで「考え」「取り組み」「振り返る」事業所づくりを目指します。

・「バクのパン屋さん」と「バクかふえ」それぞれが別の建物で日々の活動を行っていることもあり、「バクのパン屋さん」と「バクかふえ」を一つの事業所と捉えながら日々の活動を実施するのが難しい状況があった。そのため、毎月会議を実施し、会議の中で、それぞれのプログラム（バクのパン屋さん・バクかふえプログラム）の現状や抱える課題を事業所全体で共有し、一緒に考え、実践し振り返った。その中で、個々のプログラムだけでは解決できなかった課題の解決や職員の働き方の改善、利用者考案の忘年会を実施することができた。

(2) 「利用者よし」「地域よし」「職員よし」のパン屋を目指します。

・チームで「考え」「取り組み」「振り返る」ことを土台として、パン製造工程の見直しにより、新しい触感のパン生地を開発することができ、お客さんからの「パンが美味しくなったね。」などの声を頂いた。また、昨年度より売り上げが増えたことにより、利用者への一時金等の支給を行うことができた。

(3) 「利用者ファースト」のカフェを目指します。

・チームで「考え」「取り組み」「振り返る」ことを土台として、毎月 1 度、利用者が作ったカレーライスを他の利用者や職員に振舞う「バクかふえカレーの日」を定期的にも実施することができた。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	21	21	36	30	20	30	
事故	4	5	2	4	6	2	
苦情	0	1	1	3	1	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	31	20	20	22	17	13	281
事故	3	2	0	1	0	0	29
苦情	1	1	0	1	1	0	10

2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

- ・調理器具の扱いによるものや、利用者の障害特性によるケースの事例が多くあった。

② 事故について

- ・調理器具による怪我や火傷、パン工房内での接触事故などが複数回あった。

③ 苦情について

- ・利用者から他の利用者の言動等にたいする内容が多かった。地域の方からの利用者対応についての意見もあった。

④ まとめ

- ・職員会議の中で、ヒヤリ・事故・苦情については共有し、必要な改善策等の確認も実施している。4月からは、「バクのパン屋さん」と「バクかふえ」の活動場所が一つになり、ヒヤリや事故、苦情の内容も変化することも予想される。引き続き、職員会議等の中で、情報共有や必要な改善策等を検討していくことが必要だと考えられる。

3、利用者工賃について

工賃支払総額	2,132,851 円
平均工賃	12,606 円

※工賃支払総額：2023年度（1年間）に支払った工賃の総額

※平均工賃：工賃支払い総額÷（開所日1日当たりの平均利用者数（14.1人）×12カ月）

◎ 光摂ホーム

1 事業の目標の振り返り

(1) 各ホーム修繕、改修などを行い、より良い環境を作っていきます。

・現在光摂ホームは3居室の空室がある。グループホームの利用希望者が、すぐにでも利用できるよう、3部屋のうち2室の改修等をおこなった。

まず、桜町ホームは、窓があった方が良くと考え、貸主の方へ説明し窓の設置を相談する。貸主さんは、快く了承してくださり、7月24日に設置工事に至る。工事費については、貸主さんが全額負担をしてくださった。工事完了後は、風通しや光が差し込む状況ができ、以前より過ごしやすい部屋となった。

次に、正雀ホームの空部屋は、他の部屋よりも少し狭い部屋であった。府営住宅であったため、大阪府営住宅高槻センターへ模様替え申請をおこない、10月10日付申請承認通知が届く。まだ完成はしていないが、今後、世話人室の配置換えを行い、完成に向け進めていきたいと考えている。

(2) 長く運営が継続できるような職員体制づくりを進めます。

・社会保険の加入を希望していた職員さんに対し、雇用契約内容を変更し、勤務日数の増加により、ご本人の希望する社会保険加入を行った。また、世話人希望者の方との面接をおこない、1か月に1回程度の勤務ではあるが、雇用契約の締結をおこなった。

ホームの勤務は夜勤勤務が基本となるため、職員の増員や、勤務日数のすくない職員の勤務日数増などで、職員負担の軽減ができる体制づくりをおこなった。

2 ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ヒヤリ	6	6	5	1	5	4	
事故	2	4	1	5	4	2	
苦情	0	0	1	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリ	5	3	8	8	9	2	62
事故	3	5	1	1	2	4	34
苦情	0	0	0	0	0	0	1

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリハットについて

・大半が利用者さんの気持ちの変化に伴う暴言や行動等であった。行動については、リビングで他の利用者がテレビを見ている中、突然テレビの音量を聞こえないほ

ど小さくしたり、突然テレビを消したり等があった。他には、薬カレンダーの中に薬が見当たらなかった等薬に関するケースも数件あった。

② 事故について

- ・ヒヤリハットで挙がっている利用者さんの気持ちの変化に伴う暴言が治まらず、物を投げたり、他の利用者や職員を叩いたりするケースが大半であった。利用者の体調や様子等を主治医へ報告相談をおこない、利用者が安定して生活できるように努めた。他には、薬の飲み忘れなどの薬に関する事象が今年度は多かった。

③ 苦情について

- ・利用者から「職員が他の利用者の薬の取り扱いが間違っているのではないか」と問い合わせがある。利用者から内容を聞き説明を行った。利用者やご家族からの問い合わせについては、その都度確認し、職員間で共有をおこなっている。

④ 振り返りについて

- ・日々の支援報告の中で、「ヒヤリ・事故・苦情」内容を拾い上げている。勤務後に確認ができる際は、その日の利用者の様子等も確認した。利用者の様子等については、主治医へ報告しながら、月に一度の職員会議においても共有をおこなった。今年度は、飲み忘れや薬カレンダーへのセッティング漏れ等、薬に関する事象が多くなった。職員会議にて「薬の取扱いについて」再度確認をおこなった。さらに、利用者一人一人の薬の処方内容等を表にし、職員会議にて再確認を行うことにしている。

3 通院介助の状況について(光摂ホームのみ)

通院先	40代	50代	60代	70代	小計
精神・神経科	10	12	12	0	34
内科	14	26	20	13	73
外科	2	0	7	0	9
整形外科	1	0	12	5	18
皮膚科	2	0	0	0	2
婦人科	0	0	0	0	0
眼科	2	0	0	0	2
泌尿器科	0	0	0	0	0
歯科	0	27	24	0	51

合計	31 (7.7)	65 (16.2)	75 (37.5)	18 (18.0)	189(17.1)
----	----------	-----------	-----------	-----------	-----------

* 40代：女性2名 男性2名 50代：女性3名 男性1名

60代：女性2名 70代：女性1名

* () 内は各年代での平均通院件数

◎ 摂津障害者生活支援センターはぁねすについて（2024年4月より「はぁねす」に名称変更）

1、事業の目標の振り返り

(1) システムの活用や計画的なスケジュール立て等により業務の効率化をはかる。

⇒計画相談支援（プランの導入や更新、モニタリング等）の年間スケジュールと毎月の業務の進捗状況を把握する上でシステムを活用することができた。システムを活用しつつ毎月のスケジュール表や書類提出チェック表を事務所に貼り出し、2重3重チェックすることで、支援や市への提出物の漏れを防ぐことができた。職員個々の予定についても携帯電話のカレンダーアプリで共有することができた。

(2) 法人内の居住支援法人での役割を果たし、地域交流室と協働で地域との繋がりを密にして社会資源の開発を目指す。

⇒はぁねすの職員1名が居住支援法人の担当となり、他事業所の担当者と協力して取り組むことができた。地域交流室との協働は特になかったが、2024年度の事業所移転で同じ建物で活動することになったため、今後は地域交流室はじめ他事業所と一緒に地域での取り組みについて考えていきたい。

(3) 2024年度の事業所移転がスムーズに行えるように、資料整理等の準備と利用者や関係機関等への周知を計画的に行う。

⇒慌ただしくはあったものの、4月から移転先で通常業務を行う状況を整えることができた。利用者や関係機関への連絡も事前に行うことができた。

(4) 2024年度の移転に向け、2023年度は地固めの年とする。計画相談支援の件数は現状維持を基本とし、委託相談含む個々のケースについてより丁寧な関わりと質の向上を目指す。また、当事者活動の充実に向けた検討と準備を行う。

⇒2023年度は計画相談支援の新規契約を一旦止める方針とし、市障害福祉課や市内相談支援事業所にも事業所の意向を伝えた。しかし実際は、以前支援していた利用者のサービス再開や前年度から依頼のあったケースの計画相談導入等、数件の新規契約があった。また支援学校高等部3年生の卒業後の福祉サービス利用に向けて、秋頃から順次

契約し支援を開始した。今年度は摂津市主管の高校 3 年生の人数が多く、はあねすでは 6 名を担当することになった。委託相談においては密な関わりの必要なケースが複数あった。計画相談の件数を抑えたことで個々の利用者に対して集中的な支援を行うことができた側面もある。

当事者活動「集まってみよう会」は毎月開催し、今年度はコロナ禍を経て 3 年ぶりに作品展も開催できた。2024 年度からは当事者による活動の企画会議実施等を予定している。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

- ①ヒヤリハット：4 件
- ②事故：3 件
- ③苦情：2 件

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリハットについて

・訪問予定の失念、書類提出の遅れ等があった。携帯アプリ使用による職員全体での予定共有、市役所への提出物チェック表の貼り出し等改善を行った。

② 事故について

・メールの誤送信、書類の渡し間違い、請求ミスがあった。複数の職員による 2 重 3 重チェックを行っているが、年数件の事故が起こっている。個人情報流出等の重大な事故はなかった。

③ 苦情について

・サービス利用までの手続きが煩雑、電話をかけたが繋がらなかった等の苦情があった。制度や事業所の状況を説明しご理解いただいた。

3、事業実績報告

① 障害者相談支援事業（摂津市委託事業）

相談者数と障害種別

	実人員	身体障害	重症心身	知的	精神	発達障害	高次脳	その他
障害者	113	82	0	34	10	0	3	8
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0

計	113	82	0	34	10	0	3	8
---	-----	----	---	----	----	---	---	---

(実人員<障害種別合計数)

支援内容（支援方法）

訪問	来所	同行	電話	メール	個別支援 会議	関係機関	その他	計
158	125	101	681	89	20	1510	87	2771

↓

介護給付費関係	訓練等給付費関係	地域生活支援事業	医療機関	行政機関	権利擁護
455	217	37	274	205	34
30.1%	14.4%	2.5%	18.1%	13.6%	2.3%
高齢介護関係	教育・保育関係	就労関係	相談支援	その他	
118	6	2	14	148	
7.8%	0.4%	0.1%	0.9%	9.8%	

支援内容（相談内容）

福祉サービスの 利用等	障害や病状の理 解	健康・医療	不安の解消・情 緒安定	保育・教育	家族関係・人間 関係
680	7	905	249	2	169
家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇 活動	権利擁護	その他
142	372	26	37	49	133
					計 2771

② 指定特定相談支援（計画相談支援（摂津市指定）

計画相談対象者：110名

③ 一般相談支援（地域相談支援（大阪府指定）

サービス提供の実績なし

④ 障害当事者交流会「集まってみよう会」 毎月第1土曜日開催

開催日数：12回

活動内容：創作活動、来年度の活動打合せ、「多様な人の多様な避難を考えるセミナー」

出席

参加者数：延べ人数72名、実人員10名

「第9回地域でいきいきと～障がいのある私たちの作品展」開催

令和6年1月15日（月）～19日（金） 摂津市役所1階ロビーにて

◎ 地域交流室

1、事業の目標の振り返り

- (1) 『陽だまり』の充実に向けて、積極的に協力していく。
 ・障害児者とともに地域で生きる会役員とは別に陽だまり部会の一員として参画し、喫茶アウル内で上映会を2月と3月にそれぞれ開催した。
- (2) 複合福祉施設の活用方法を地域の諸団体と一緒に考えていく。
 ・3月5日の複合福祉施設内覧会の際に、諸団体の方たちへ周知

2、出席した主な会議や活動について

活動日	活動内容
4月1日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
4日(火)	居住支援法人 白鷺園訪問
5日(水)	居住支援法人 打ち合わせ
9日(日)	にこにこ三島子ども食堂
11日(火)	市人権定例会
14日(金)	立体交差事業に伴う懇談
15日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
17日(月)	福祉就職フェア 打ち合わせ
21日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
22日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区子ども食堂
23日(日)	誕生記念植樹祭
27日(木)	子どもフェスティバル打ち合わせ
5月9日(火)	摂津市人権協会 総会
	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
12日(金)	みしまつり打ち合わせ
13日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
15日(月)	わたバ工事打合せ
18日(木)	緑化推進連絡会 総会
20日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
21日(日)	みしまつり
22日(月)	福祉就職フェア 打ち合わせ
23日(火)	居住支援協議会 総会
24日(水)	ひこうせん編集会議

26日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
27日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区子ども食堂
5月30日(火)	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
6月1日(木)	複合福祉施設 打ち合わせ
	子どもフェスティバル打ち合わせ
4日(日)	摂津市民福祉まつり
6日(火)	居住支援法人 懇談
	生きる会 回答説明会
	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
11日(日)	にこにこ三島子ども食堂
12日(月)	福祉就職フェア 打ち合わせ
	陽だまり部会 打ち合わせ
	たそがれコンサート 打ち合わせ
17日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
19日(月)	法人内摂津まつり、たそがれコンサート打ち合わせ
20日(火)	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
24日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区子ども食堂
27日(火)	三島まちかど広場 植え替え
30日(金)	日中プログラム開発プロジェクト会議
7月4日(火)	居住支援法人 打ち合わせ
5日(水)	ひこうせん編集会議
7日(金)	緑化推進連絡会
8日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	福祉就職フェア
9日(日)	にこにこ三島子ども食堂
15日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	障害児者とともに地域で生きる会 総会
18日(火)	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
20日(木)	陽だまり部会
21日(金)	日中プログラム開発プロジェクト会議
22日(土)	一中校区子ども食堂
29日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
8月2日(火)	喫茶アウル ベランダ水漏れ対応

8日(火)	居住支援法人打ち合わせ
10日(木)	緑化推進連絡会
18日(金)	日中プログラム開発プロジェクト会議
24日(木)	障害者週間啓発事業打ち合わせ
	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
31日(木)	陽だまり部会
9月2日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
10日(日)	にこにこ三島子ども食堂
12日(火)	摂津市人権協会 定例会
16日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
19日(火)	居住支援法人 打合せ
	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
21日(木)	複合福祉施設 設計士との打ち合わせ
	わたバ建物家主との懇談
23日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区子ども食堂
28日(木)	陽だまり部会
10月7日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
15日(日)	ふらっとマルシェ開催への協力
17日(火)	居住支援法人 打合せ
	障害者週間啓発事業打ち合わせ
	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
18日(水)	ひこうせん編集会議
19日(木)	子どもフェスティバル打ち合わせ
20日(金)	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
21日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
22日(日)	誕生記念植樹祭
26日(木)	陽だまり部会
27日(金)	居住支援協議会
	日中プログラム開発プロジェクト
28日(土)	一中校区子ども食堂
30日(月)	市人権 常任委員会
11月4日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
11日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
12日(日)	にこにこ三島子ども食堂

21日(火)	わたば家主との懇談
	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
25日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区子ども食堂
27日(月)	社会貢献 連絡会
28日(火)	摂津市緑化推進連絡会 交流会
12月2日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
7日(木)	居住支援法人打ち合わせ
	複合福祉施設打ち合わせ(建設打ち合わせ)
12月8日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
10日(日)	にこにこ三島子ども食堂
13日(木)	居住支援法人面談
	立体交差推進課との懇談
14日(木)	ひこうせん編集会議
	子どもフェスティバル打ち合わせ
16日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区子ども食堂
19日(火)	居住支援法人打ち合わせ
23日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	歳末ふれあいの集い
28日(木)	福祉課課長との懇談
1月13日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
18日(木)	陽だまり部会
20日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
21日(日)	1中校区クリーン作戦
24日(水)	拠点事業研修
26日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
27日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区子ども食堂
2月5日(月)	子ども食堂ネットワーク
8日(木)	陽だまり上映会
10日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
11日(日)	にこにこ三島子ども食堂
13日(火)	味舌の楽いち打ち合わせ
15日(木)	子どもフェスティバル打ち合わせ

19日(月)	わたバ改修工事打合せ(警備システム)
24日(土)	一中校区子ども食堂
27日(火)	居住支援法人打ち合わせ
29日(木)	複合福祉施設打ち合わせ(引き渡し前事前確認)
3月6日(水)	摂津市民福祉まつり事務局
7日(木)	陽だまり上映会
12日(火)	生きる会回答説明会
13日(水)	福祉まつり実行委員会
21日(木)	ひこうせん編集会議
25日(月)	社会貢献連絡会
26日(火)	障害児者とともに地域で生きる会 役員会

3、喫茶アウル年間営業日等について

4月	5・6・12・13・19・20・26・27	小計8日
5月	10・11・17・18・24・25・31	小計7日
6月	1・7・8・14・15・21・22・28・29	小計9日
7月	5・6・12・13・19・20・26・27	小計8日
8月	23・24・30・31	小計4日
9月	6・7・13・14・20・21・27・28	小計8日
10月	4・5・11・12・18・19・25・26	小計8日
11月	1・2・8・9・15・16・22・29・30	小計9日
12月	6・7・13・14・20・21・27・28	小計8日
1月	10・11・24・25・31	小計5日
2月	1・7・8・14・15・21・22・28・29	小計9日
3月	6・7・13・14・27・28	小計6日
	総計	89日

◎ 居住支援法人

1、事業の目標の振り返り

(1) パンフレット等を作成して地域の人に知ってもらう。

・パンフレットを作成し、関係機関へのパンフレット配布等により周知活動を実施した。周知活動を行ったことで、相談者の多くは関係機関からの紹介となり、3月末時点での延べ相談者数は6名となった。ただ、関係機関を通さずに相談に来られる方はほとんど居ない状況があり、今後は、地域から直接相談を受けるなど間口を広げる工夫が必要と考えられる。

(2) 居住支援協議会等に積極的に参画して、支援の質の向上に取り組む。

・5月に、摂津市居住支援協議会に加入し、11月には、摂津市居住支援協議会が開催した「介護の日イベント相談ブース」にも出展を行った。また、居住支援法人に関する研修会や交流会にも参加した。支援に関しては、フェースシートや記録様式などの支援ツールを整えた。少ないながらも相談者と一緒に住居探しをする中で、連帯保証人や緊急連絡先の引受人の課題などが顕在化している。今後は、摂津市居住支援協議会への課題報告などを通じて、解決方法等を見つけていくことが必要だと考えられる。

● 高齢等部門について

◎ ケアプランセンターたんぽぽ

1、事業所の目標の振り返り

(1) 地域の皆さんから信頼できる事業所になる。事業所職員の質の向上を図ります。

・事業所内外の研修の受講は出来た。主任介護支援専門員（新・更新）が無事に終了。

特定事業所加算要件も実施できた。個別の学習計画については研修等の実施ができていない所もあった。継続して特定事業所加算要件の為の実施項目を行い、各ケアマネージャーのスキルアップができるようにして行く必要がある。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	0	0	0	0	0	0	
事故	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	1	0	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	0	0	0	1	0	0	1
事故	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	1	1	3

2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

・なし

② 事故について

・1件挙がっている。入院中に新規申請時、ケアプラン作成届け提出忘れていた。

③ 苦情について

・3件挙がっている。内訳としては、「ケアマネージャー交代 2件」「訪問先誤り 1件」

④ まとめ

・新人ケアマネージャー、非常勤ケアマネージャーも居るので常勤ケアマネージャーで介護保険課に提出前に確認を行う。担当者については利用者、家族の状況により判断を行う。

初歩的なミスがないように再確認を行う。

3、その他

R6年から実施項目である、BCP・ハラスメント・虐待防止研修等を行なった。

◎ ケアセンターたんぽぽ

1、事業所の目標の振り返り

- (1) 目標:利用者に寄り添い、より良い支援を続けられるように、人材の育成に力を入れ、研修を充実させる。
- ・利用者の要望や必要な支援に合わせたヘルパーの選定を心がけ、気持ち良く支援が受けられるように配慮した。
 - ・ヘルパーのスキルアップの為、勤務年数別に班分けし、年数に合わせた研修を行った。
 - ・実際に起きた事故やヒヤリハット事例から、サービス提供責任者が研修資料を作り、ヘルパーに指導、研修をした。
- (2) 目標:職員の意見を取り入れ、働きやすい環境を作る。
- ・以前からヘルパーから要望があった移動費の支払いをR.6.4月～開始する事にした。
 - ・移動時間の要望を職員一人一人に丁寧に聞く事で、無理のないシフトを組む事が出来ている。
 - ・制服の管理担当者を決める事で準備が早くでき、制服の交換がすぐ用意できるようになった。
- (3) サービス提供責任者の作業の見直しをし、効率化を進める
- ・シフト作り、ヘルパー研修、実習生の受け入れなどは、負担を分散し、重い役割が一人にかからないようにした。
 - ・事務作業が忙しい時期(月末月初)には、サービス提供責任者の訪問支援をヘルパーに依頼し、事務作業がスムーズに終わるようにした。また、声掛けして早めに取り掛かる事で、作業が早く終わるようになった。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ヒヤリ	3	2	0	0	0	0	
事故	0	0	2	2	0	1	
苦情	0	0	0	0	0	0	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリ	0	4	0	0	1	1	11
事故	0	2	3	1	1	0	12
苦情	0	0	1	0	1	2	4

3、その他

① 令和6年度から、BCP・ハラスメント・虐待等の研修を実施した。

② 令和6年3月末現在

利用者数 : 136名

常勤職員 : 管理者兼サービス提供責任者 1名、

サービス提供責任者 4名、

事務 1名

非常勤職員 : ヘルパー 23名

◎ デイサービスたんぽぽ

1、事業所の目標の振り返り

(1) 利用者稼働率100%を目標とする。専門的な知識と技術の向上、児童、障がい、福祉の研修を計画的に行う。

・お花見、秋を感じる外出レク等、季節ごとの行事を行う事が出来ました。

・ボランティアについて

ほほえみの会・合唱団・演歌ショー・腹話術・ジャズピアノ(ケガのため休み中)

の方々が来られています。昨年より3団体が増え利用者も楽しみにされています。

・職員の質の向上のための研修について

内部研修は“感染予防知識・感染症・接遇・高齢者虐待・認知症介護技術・権利擁護リスクマネジメント・高齢者レクリエーション”を行いました。

外部研修は“現場におけるリスクマネジメント・車椅子メンテナンス・口腔ケア講習 専門職としてのケアの磨き方・車椅子の移乗・座位の修正技術・認知症ケア初級編・上級編・感染症”に参加しました。参加した職員には内部研修で講師をしてもらいました。認知症実践者研修に1名参加しています。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	0	6	3	5	4	3	

事故	0	2	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	4	5	4	4	5	3	46
事故	0	1	0	1	0	2	6
苦情	0	0	0	0	0	0	0

2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

- ・46件ヒヤリがありました。(以下抜粋)
- ・身体的機能低下や認知機能低下に伴うフラツキや座り込み
- ・工作の花紙の異食
- ・利用者の一方向的な思い違いからの暴力
- ・薬が床に落ちていた
- ・体温計が行方不明
- ・記録の数値の記入間違い

② 事故について

- ・6件上がっています。
 - ・「異食4件」「離設1件」「服薬の曜日間違い1件」がありました。
- 異食の原因は認知機能の低下によるものが多いです。
- 離設の原因は認知症機能低下と職員によるミスが重なってしまいました。命に関わる事故であったことを重く受け止めます。
- 服薬の曜日間違いは職員の思い込みによるものです。

③ 苦情について

ありません。

● 保育部門

◎ わかば保育園

1、事業所の目標の振り返り

次年度移転し定員60名になることで、今まで4歳児を受けて来なかったが保護者の希望もあり4歳児の保育を行う。ただ、4月当初4名で保育を始めたが集団が小さくなったことで3歳児と合同することが増え職員間で話し合い、5月から生活環境も変え、3・4歳児の異年齢保育の取り組みを行った。そうすることでこども一人ひとりの成長を促すことが出来た。

また、4歳児を受け入れたため、0歳児の募集をせず、1歳児を0歳児室で保育を行った。しかし、6名しか受け入れることが出来なかった（部屋の平米数によって受け入れる人数に制約があるため）が、例年1歳児は8～9名で保育を行っていた時より、人数が少ない分より丁寧に保育が出来た。

0歳児の募集をやめ1歳児も例年より少ない人数しか受け入れることが出来ないため、2歳児の枠を広げ支援が必要な子を含め12名を受け入れ、正規職員2名非常勤職員1名で保育を行った。定員30名のわかばにとって一つのクラスに12名は初めての大所帯になり、クラス運営が難しかった。しかし、次年度には定員60名になると、同様な人数を受け入れることになるので、いい経験となった。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

1) 一年間の件数について

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヒヤリ	4	2	2	2	1	2	
事故	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒヤリ	1	0	1	1	0	2	18
事故	0	0	0	0	1	0	1
苦情	0	0	0	0	0	0	0

2) 内容と振り返りについて

①ヒヤリについて

- * こども同士のトラブル（噛む・たたく・ひっかく）5件→こどもの特性を把握し未然に防ぐことが出来る事案もある。担任以外にも共有が必要。
- * 大人の不注意7件→保育環境を整える。こどもの行動を予測し大人の動きの見直し。
- * その他6件

内3件→室内、戸外でこどもの誤飲に繋がる物が落ちていた。遊ばせる前に周囲の確

認を行うこと。

散歩ボードに記入するこどもの人数を間違える、エレベーターに巧技台等乗せたまま忘れる等は複数での確認を行う。

②事故について

散歩時大型のすべり台で遊ばせていた。帰園時間になり、2人いた職員のうちリーダーの保育者がこどもたちに帰ることを伝え促し、サブの保育者が散歩リュックを取りに行った。結果すべり台でまだ遊んでいる子から目を離してしまった。その際、すべり台を滑ろうとした時転倒し縁石に顔面を打ちつけ口から出血。上前歯が2本ぐらついているため、嘱託医に連絡をして受診する。→すべり台等危険も伴う遊具で遊びが続いている間は「目を離さない」を徹底する。職員間で声のかけ合いが必要。

③苦情について

特になし

④まとめ

毎月保育会議の中でヒヤリ報告を共有する。保育会議に出席しない非常勤職員にも会議報告をする中で共有し話し合ったことも伝える。些細な事でも大きな事故に繋がることを確認しヒヤリ報告を促す。

今年度は事故事案もあり、共有にとどめずしっかり話し合い再発防止に努める。

3、その他（各事業ごとに報告が必要な内容）

今年度、定員30名のうち0歳児→0名、1歳児→6名、2歳児→12名、3歳児→7名、4歳児→5名

（例年 0歳児→5～6名、1歳児→8～9名、2歳児→8名、3歳児→8名）

低年齢児は保育単価が大きいので、厳しい運営は予測された。しかし、次年度につなぐため、やむを得ない決断だった。年度当初より保育単価が上がり最終的には赤字にはならずすんだ。今後も単年度だけを見るのではなく、長いスパンで見通しを持って定員の確保に努める。